



Sun Fire™ X2100 サーバー リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 819-4592-10
2005 年 10 月、改訂 A 版

本書に関するコメントは、次の宛先にお送りください。 <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書に記載されている技術に関連する知的所有権を所有しています。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されている 1 つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における 1 つまたは複数の特許または申請中の特許が含まれます。

本書および製品は、その使用、複製、再頒布および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Sun Microsystems, Inc. またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティーソフトウェア（フォントに関するテクノロジーを含む）は、著作権を有する当該各社より Sun 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、Sun 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、docs.sun.com、Sun Fire、Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ グラフィカルユーザインターフェイスは、Sun Microsystems, Inc. がユーザおよびライセンス被許諾者のために開発したものです。Sun 社は、ビジュアルまたはグラフィカルユーザインターフェイスの概念を先駆的に研究、開発し、コンピュータ業界に貢献した Xerox 社の努力を高く評価いたします。Sun 社は、Xerox グラフィカルユーザインターフェイスに対する非独占的ライセンスを Xerox 社から受けています。このライセンスは、OPEN LOOK GUI を採用する Sun 社のライセンス被許諾者に対しても適用されます。また適用されない場合でも、それらライセンス被許諾者は Sun 社のライセンス契約文書に遵守することとなります。

米国政府の権利 — 商用。政府関連のユーザは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

本書は、「あるがまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, Californie 95054, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. a les droits de propriété intellectuelle relatants à la technologie qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuelle peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, docs.sun.com, Sun Fire, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

L'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et Sun™ a été développée par Sun Microsystems, Inc. pour ses utilisateurs et licenciés. Sun reconnaît les efforts de pionniers de Xerox pour la recherche et le développement du concept des interfaces d'utilisation visuelle ou graphique pour l'industrie de l'informatique. Sun détient une licence non exclusive de Xerox sur l'interface d'utilisation graphique Xerox, cette licence couvrant également les licenciées de Sun qui mettent en place l'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et qui en outre se conforment aux licences écrites de Sun.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

Sun Fire X2100 サーバーリリース ノート

最新版のリリースノートその他の Sun Fire™ X2100 サーバー関連資料は、次の URL からダウンロードできます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Servers/Workgroup_Servers/x2100/index.html

Sun Fire X2100 サーバーのご利用に際しては、次の問題および注意点にご留意ください。

ハードウェア /BIOS 関連の問題

- 「電源 LED の不具合」 (2 ページ)
- 「Windows XP OS における SATA ホットプラグ」 (2 ページ)
- 「RAID デバイスのブートセクターの初期化」 (2 ページ)
- 「USB ドライブから Pc-Check 診断プログラムを実行できない」 (3 ページ)
- 「シリアルコンソールリダイレクション」 (3 ページ)
- 「SMDC コンソールリダイレクションは現在サポートされていません」 (3 ページ)
- 「最高 CPU 速度」 (4 ページ)

Linux 固有の問題

- 「Linux と Solaris OS で xorg.conf に変更の必要な場合がある」 (4 ページ)
- 「SLES 9 デュアルコアプロセッサと SP バージョン」 (4 ページ)
- 「4 GB メモリの SLES 9(SP 2) 64 ビットデュアルコアプロセッサのパニック」 (5 ページ)
- 「SLES 9 32 ビットはデュアルコアプロセッサのシングルコアだけを使用」 (5 ページ)
- 「Red Hat Linux OS におけるキーボードの重複入力」 (7 ページ)

Solaris 固有の問題

- 「下側の USB コネクタと Solaris 10 HW1」 (7 ページ)
- 「Linux と Solaris OS では xorg.conf に変更が必要」 (8 ページ)

Windows 固有の問題

- 「KVM を使った Windows XP のインストール」 (8 ページ)

ハードウェア /BIOS 関連の問題

Sun Fire X2100 サーバーまたは BIOS に関する次の不具合にご注意ください。次の事項は、特に記載されていない限り、インストールされているすべての種類のオペレーティングシステムに該当します。

電源 LED の不具合

次の不具合は、電源 LED に関連します。

- システムが異常なシャットダウンをした場合、特にオペレーティングシステムのインストール中には、システムの電源 LED がオフになりません。
- IPMI コマンド **chassis power off** を使った場合、電源 LED が消えません。
電源 LED をリセットするには、AC 電源コードをいったん抜いてから、再び接続し、サーバーの電源をオンにしてください。
- Solaris 10 のシャットダウン後、システムの電源 LED がオンのままになります。

Windows XP OS における SATA ホットプラグ

SATA ホットプラグは、Windows XP オペレーティングシステムでのみサポートされています。Linux または Solaris でハードディスクを切り替えたい場合は、システムを再起動する必要があります。

RAID デバイスのブートセクターの初期化

BIOS RAID 機能では、RAID デバイスのブートセクターを初期化できません。

ブートセクターを初期化するには、次の操作を行います。

1. Supplemental CD からサーバーを起動します。
2. [Main Menu] から、オプション 4 の [Exit to DOS] を選びます。
3. プロンプトで **fdisk** コマンドを入力します。
4. 画面が表示されたら、オプション 4 (Select other disk) を選びます。
次に、他のディスクを初期化するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
5. [Yes] を選びます。

USB ドライブから Pc-Check 診断プログラムを実行できない

Sun Fire X2100 Server Supplemental CD に収録されている Pc-Check 診断プログラムは、オンボードの DVD ドライブ（サーバーにインストールされている場合）またはリモートサーバーから実行できます。Pc-Check は、外付 USB CD-ROM ドライブには使用できません。

Pc-Check 診断の詳細については、『*Sun Fire X2100 サーバーユーザガイド*』の「診断」の章をご参照ください。

シリアルコンソールリダイレクション

シリアルコンソールリダイレクションを使うには、次の手順に従って最初に BIOS 設定を変更してください。

1. **Sun Fire X2100** サーバーにローカルのキーボードとモニタを接続します。
2. サーバーを再起動します。
3. **Sun** ロゴ画面が表示されたら、**F2** を押します。
4. **[Advanced BIOS Features] -> [Console Redirect] -> [Enabled over COM1]** を選びます。
Solaris または Linux オペレーティングシステムをお使いの場合、COM ポートが有効になったら、コンソールリダイレクションのために xterm ウィンドウを開けます。
リモートコンソールから BIOS 設定を編集するには、次の操作を行います。

1. サーバーを再起動します。
2. **TAB-2**（両方のキーを同時に）押して、**BIOS セットアップユーティリティ**を起動します。
この操作は、ローカルセットアップで **F2** キーを押すのと同じ結果になります。

ご参考： チップセットアップで、BIOS セットアップユーティリティにおいて、より高レベルのウィンドウに移動するには **ESC** を 2 回押す必要がある場合があります。

SMDC コンソールリダイレクションは現在サポートされていません

今後の BIOS およびファームウェアアップデートで、まもなくサポートされる予定です。

最高 CPU 速度

/proc/cpuinfo に表示される CPU 速度は、プロセッサの最高速度とは限りません。プロセッサの AMD PowerNow 節電機能の結果、/proc/cpuinfo に表示される CPU 速度は、プロセッサの最高速度とは限りません。

プロセッサの最高速度を表示する必要がある場合は、cpuinfo の内容を表示する前に、`/etc/init.d/cpuspeed stop` コマンドを入力してください。

Linux 固有の問題

次の事項は、Sun Fire X2100 サーバーに特定のバージョンの Linux オペレーティングシステムがインストールされている場合に該当します。

Linux と Solaris OS で Xorg.conf に変更の必要な場合がある

Linux または Solaris OS がモニタを認識しない場合は、Xorg.conf ファイルを編集して、モニタに表示されるパラメータと一致させる必要がある場合があります。

SLES 9 デュアルコアプロセッサと SP バージョン

デュアルコアプロセッサを搭載した Sun Fire X2100 サーバー（例、モデル 175）をお使いの場合は、SLES 9（SP 2）32 ビットまたは 64 ビットを使う必要があります。デュアルコアプロセッサ上では、SLES 9（SP 0）および（SP 1）32 ビットおよび 64 ビットは、一時停止したり、カーネルをパニックに陥れます。

4 GB メモリの SLES 9 (SP 2) 64 ビットデュアルコア プロセッサのパニック

4 GB メモリのデュアルコアプロセッサを搭載した Sun Fire X2100 サーバーをお使いの場合、SLES 9 (SP 2) 64 ビットは、カーネルをパニックに陥れます。

この問題を回避するには、SLES 9 (SP 2) の 32 ビットカーネルバージョンを使うか、メモリ構成を 4GB メモリ未満に変更するか、次の対処法を行ってメモリのリマッピングを無効にしてください。

ご参考： 4 GB を搭載した状態でメモリのリマッピングを無効にすると、利用できるメモリ容量は 3.5 GB になります。

メモリのリマッピングを無効にするには、次の操作を行います。

1. SUN ロゴが表示されているとき、起動処理中に F2 を押します。
2. [Advanced Chipset Features] -> [DRAM Configuration] を選びます。
3. S/W メモリホールのリマッピングと H/W メモリホールのリマッピングの両方を無効にします。
4. サーバーを再起動します。

SLES 9 32 ビットはデュアルコアプロセッサのシングル コアだけを使用

デュアルコアプロセッサシステム上の SLES 9 32 ビット (SP 1 または SP 2) では、シングルコアしか使われません。SP 2 については、この問題を修正するパッチが Supplemental CD に含まれています。このパッチのインストール方法については、次の手順を参照してください。

SLES 9 (SP 2) 32 ビットのパッチをインストールするには、次の操作を行います。

1. SLES 9 (SP 2) がインストールされているかどうかに応じて、次のいずれかを行ってください。
 - SLES 9 がまだインストールされていない場合：ディストリビューションメディアから SLES 9 (SP 2) をインストールしてください。
 - 必ず、カーネルソース RPM をインストールしてください。
 - パッケージ選択中に、選択するチェックボックスが表示されない場合は、SLES インストーラのモジュール検索機能を使って、「kernel-source」を検索してください。
カーネルソースのパッケージは、検索結果にリストされるため、リストを確認してソース RPM がインストールされるようにしてください。

- ソース RPM なしに SLES 9 (SP 2) がインストールされている場合：
 - YaST2 の「Install and Remove Software」機能を使って、カーネルソースと gcc RPM を選び、インストールしてください。
 - SLES 9 (SP 2) ディストリビューションから CD #2 をインストールして、ソース RPM を手動でインストールすることもできます。

ソース RPM は、suse/i586/kernel-source- バージョン.i586.rpm にあります。

バージョンは、カーネルのバージョンです。

2. ルート (スーパーユーザ) としてサーバーにログインします。
3. カーネルソース RPM がインストールされたら、`/usr/src/linux- バージョン`に移動し、付属のパッチ (`sun.patch`) を Supplemental CD から次のディレクトリにコピーします。
`/usr/src/linux- バージョン/ ディレクトリ`

```
# cp /suppl_x.x/sun.patch /usr/src/linux- バージョン/
```

ここで、`suppl_x.x` は、`x.x` バージョンの Supplemental CD 上のディレクトリ、バージョンはカーネルのバージョンです。

4. 次のコマンドを実行して、カーネルソースにパッチを適用します。

```
# patch -p1 -g0 --verbose --dry-run < sun.patch
```

これにより、インストールされているカーネルソースが変更されることなく、パッチがテストされます。

5. パッチプログラムから何の問題も報告されないことを確認します (キャリッジリターンに関する警告が表示されることがありますが、これは重大な問題ではありません)。

問題が報告された場合は、SLES 9 を再インストールしてから、この手順を繰り返してください。

6. 問題がなかった場合には、上記のコマンドから `--dry-run` オプションを削除したコマンドを実行して、パッチを適用します。

```
# patch -p1 -g0 --verbose < sun.patch
```

7. `/proc/config.gz` ファイルを `/usr/src/linux- バージョン`, `unzip config.gz` にコピーして、得られた設定ファイルに `.config` というファイル名を付けます。

```
# cp /proc/config.gz /usr/src/linux- バージョン
# cd /usr/src/linux- バージョン/
# gunzip config.gz
# mv config .config
```


8. 次の `make` コマンドを実行します。

```
# make oldconfig
# make all
# make modules_install
# make install
```

古いカーネルに代わって新しいカーネルが、`grub` ブートローダメニューのブートオプションとして表示されます。

9. システムを再起動し、`grub` が起動したら新しいカーネルを選びます。

Red Hat Linux OS におけるキーボードの重複入力

1 文字しか入力していないのに、端末に同じ文字が繰り返しくつも表示されることがあります。余分な文字はシステムによって認識されるため、このような入力は誤りとなります。

この問題は、次の手順に従ってキーボードの繰り返し機能を無効にすることで解決できます。

1. 画面隅の **Red Hat** の下で、**[Preferences]** -> **[Keyboard]** を選びます。
2. **[Keyboard repeats when key is held down]** のチェックを解除します。

Solaris 固有の問題

次の事項は、Sun Fire X2100 サーバーに特定のバージョンの Solaris 10 オペレーティングシステムがインストールされている場合に該当します。

下側の USB コネクタと Solaris 10 HW1

Sun Fire X2100 サーバーで Solaris 10 (HW1) オペレーティングシステムを使っている場合には、サーバー正面にある下側の USB コネクタは機能しません。上側の USB コネクタをお使いください。

この問題を解決するには、ID 118844-20 パッチが利用可能になった時点でインストールしてください。このパッチは次のサイトから入手できます。

<http://sunsolve.sun.com>

Linux と Solaris OS では xorg.conf に変更が必要

この問題については、「Linux と Solaris OS で xorg.conf に変更の必要な場合がある」(4 ページ) をご参照ください。

Windows 固有の問題

KVM を使った Windows XP のインストール

キーボード、ビデオ、マウス (KVM) スイッチを使って Windows をインストールする場合は、インストールプロセスでディスクのフォーマットが開始されるまで、KVM スイッチを同じシステムにセットしておく必要があります。別のシステムにスイッチしてから戻ると、システムが USB キーボードとマウスを認識しません。フォーマットが開始されてしまえば、別のシステムにスイッチできます。